

植生保全対策実施状況

1. 植生保全対策（平成 19 年度に 5 カ年計画を策定）

（1）区域保全対策（防鹿柵）

<20 年度中の進捗状況>

（生物多様性（希少種、多様な生息環境）保護の目的で設定した 20 年度から 21 年度の防鹿柵設置箇所について、奈良県へ依頼の施行委任により測量業務が終了した。今後 20 年度施行場所の工事契約に移行。（図 1、表 2）

（2）単木保護対策（ラス巻き）

<20 年度中の進捗状況>

平成 20 年度の事業は、平成 19 年度に行った中道沿いの上水道水源付近から尾鷲辻まで行った。（表 1、図 2）

表 1 平成 20 年度実施本数

樹種	古いラスの更新本数	新規ラス設置本数	合 計
針葉樹	2, 8 4 2	3 8 3	3, 2 2 5
広葉樹	4 7	9 3 2	9 7 9
計	2, 8 8 9	1, 3 1 5	4, 2 0 4

針葉樹：ウラジロモミ・トウヒ・コメツガ

広葉樹：リョウブ・コハナネコ(アカモ)・マンサク・ナナカマド

（3）周辺地域との連携

- ・引き続き「大台ヶ原・大杉谷ニホンジカ保護管理連絡会議」において、情報の共有化等連携を促進。
- ・グリーンワーカー事業（国立公園等民間活用特定自然環境保全活動：環境省事業）を活用し、今年度から東大台に隣接する上北山村有林で、単木保護対策（ラス巻き）を 500 本程度実施。

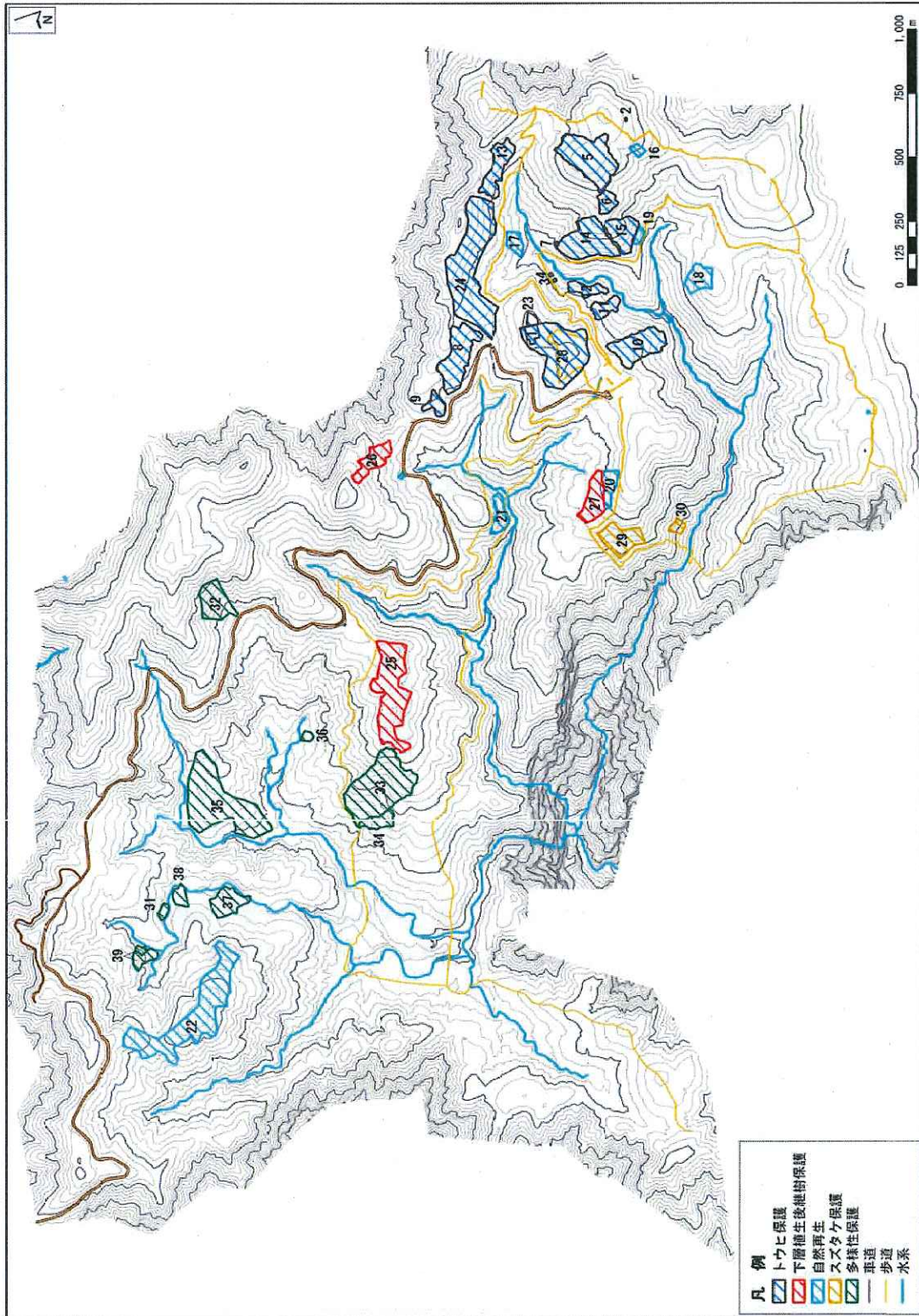


図1 防鹿柵設置位置図

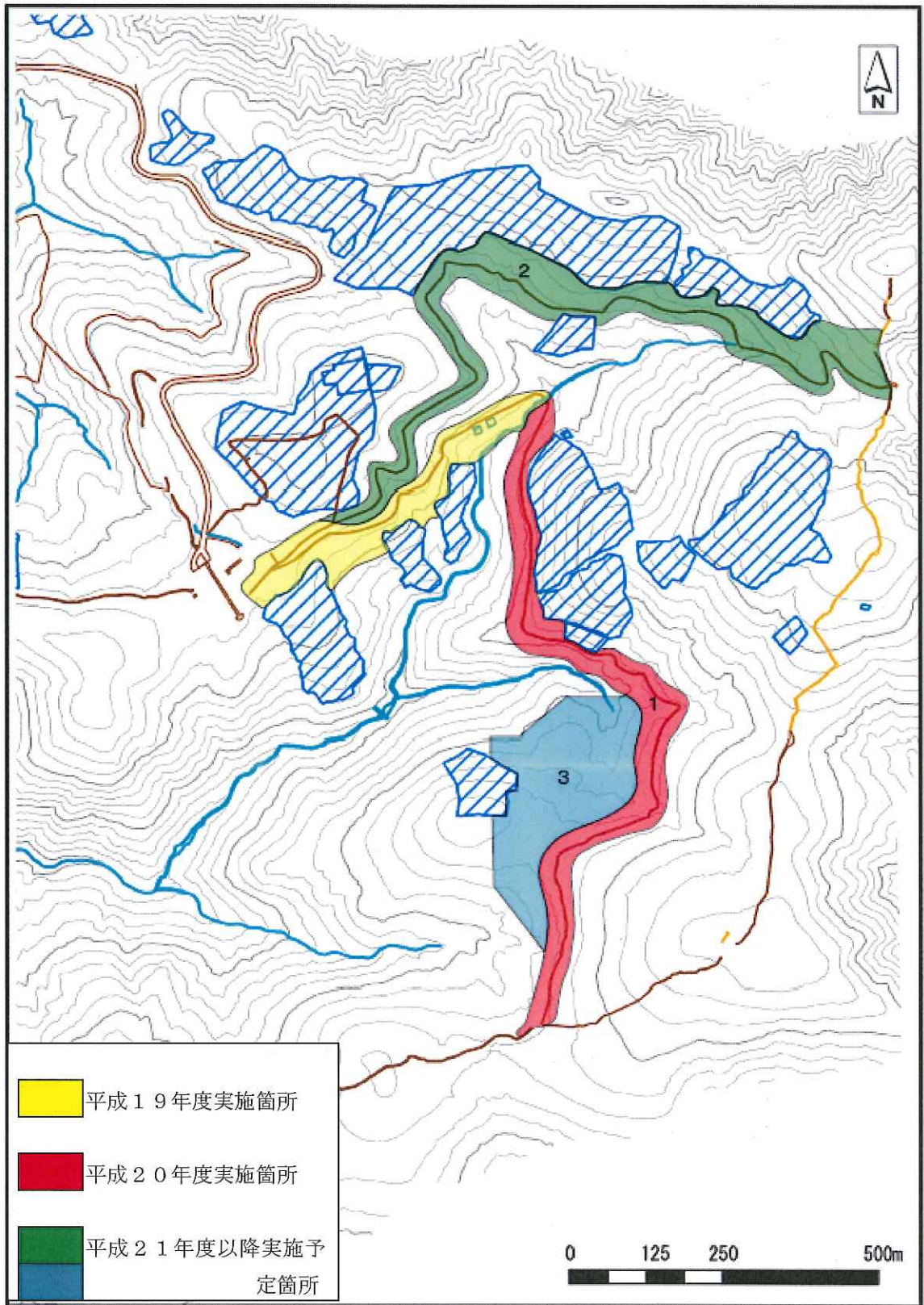


図2 平成19年度以降のラス巻き実施箇所